

地震発生!そのときに備えシミュレーションを!

地震から命を守る最大のポイントは、日頃の備えと地震発生時の落ち着いた行動です。ケガや火災などの二次災害を引き起こさないためにも、いざという時の行動をシミュレーションしておきましょう。

グラッときたら

地震発生

大きな揺れがおさまるまで

- まず第一に、自分の身を守る
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する
- あわてて外にとび出さない



揺れがおさまったら

1~2分

火元・家族の安全を確認

- 家族の安全を確認する
- 火元を確認する
- 火が出たら落ち着いて消火
- 非常持出袋を準備する



家族の無事を確認したら

3分

隣近所の無事を確認

- 隣近所の安否を確認
- ※特に一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯には積極的に声をかけ、安否を確認
- 余震に注意



こんなとき、どうする？

屋外にいるとき



- 住宅地の路地にあるブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら塀から離れましょう。



- 電柱や自動販売機も倒れることがありますので、そばから離れましょう。



- 屋根瓦や二階建て以上の住宅のベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下していくことがあります。頭の上も注意しましょう。



- 強い揺れが起きると、耐震性の不足する住宅が倒壊する場合もあります。これによりガレキや窓ガラスが道路に散乱する可能性もあります。

※岐阜県「迫る地震に備えましょう」より作成